

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社シーサポート

②事業者情報

名称：	さいたま市杉の子園	種別：	児童発達支援（児童発達支援センターを除く）
代表者氏名：	菅原英代	定員（利用人数）：	30 名
所在地：	〒 338-0012	さいたま市中央区大戸2-7-17	Tel 048-855-2356

③評価実施期間

平成27年11月1日（契約日）～平成28年2月19日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

**計画のための計画ではなく、次のステップを踏み出せる支援計画の策定に取り組んでいます**

「具体的支援内容・現在進行形の支援内容の盛り込み、できることではなく次のステップを踏み出せるまたはスモールステップを踏みやすい課題の抽出」を注視した個別支援計画が策定されています。抽出された課題は、「支援課題一覧表」にまとめられており、日々の記録は計画に沿った支援となっているかを確認できる書式となっています。計画のための計画となっている事業所が多い中、他の事業所の範となる取り組みと言えます。

**専門性を活かした独自の取り組みにより地域福祉に貢献しています**

保健センターにおける親子教室での指導、児童センターにおける発達相談、行政からの依頼による観察保育への参加など有する専門性を活かした貢献がなされています。園のホールは日曜学級の場として提供されるなど、地域福祉に資する活動がなされています。

**生活の積み重ねを大事にした支援・細やかな配慮に満ちた支援の提供に努めています**

生活の積み重ねによる成長の大事さ・一つひとつの日課やカリキュラムを大切さをもって指導にあたっており、利用者にも園の方針を理解してもらえるよう取り組んでいます。また意見を表明しづらい保護者からの意見聴取・外国籍の方への説明のための通訳配置、乳幼児教育・発達プログラムに基づくアセスメントの導入など細やかな配慮に満ちています。

◇特にコメントを要する点

**来年度の重点課題として「地域との共生」をテーマに取り組む意向をもってしています**

利用者の意向を勘案し地域との交流については限定的なものとなっており、施設見学の実施・自治会への加入・隣接する保育園との交流など新たな取り組みを模索しています。来年度の重点課題として「地域との共生」を大きなテーマに据える意向をもっており、自治会への加入をその第一歩として進められていくことが検討されています。

**利用者を力強く導いていく職員体制の構築を目指しています**

法人の人員管理計画による要員計画と人材育成部会による研修計画が立案されており、法人として福祉人材の総合的育成に組織的に取り組んでいます。事業所としては、職員バランスの是正の必要性を感じており、利用者を力強く導いていける職員体制の構築を目指しています。

**備蓄の複数年での購入など計画的な整備を考案しています**

法人の指導や職員の討議を経て利用率・修繕等の運営課題を抽出しています。災害時の備蓄については整備がされていますが、消費期限が複数年に渡るものが多いため一度に購入するのではなく年度で分けて購入・整備する意向をもっており、計画的な進捗・実施が期待されます。

⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

当園の運営全般に対し、細部にわたり聴取していただけたことに感謝しています。今回の評価を受け、地域連携への方策等、今後どのようなことから取り組んでいけば良いか整理ができました。施設側の努力で実現できる部分から取り組んでいきたいと思えます。また、実践に即した個別支援計画とするための一連の取り組みについて、高い評価をいただき、たいへんうれしく思います。今夏の評価を励みに、今後より良い取り組みができるよう努めていきたいと思えます。

⑥各評価項目にかかる第三者評価結果  
別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり